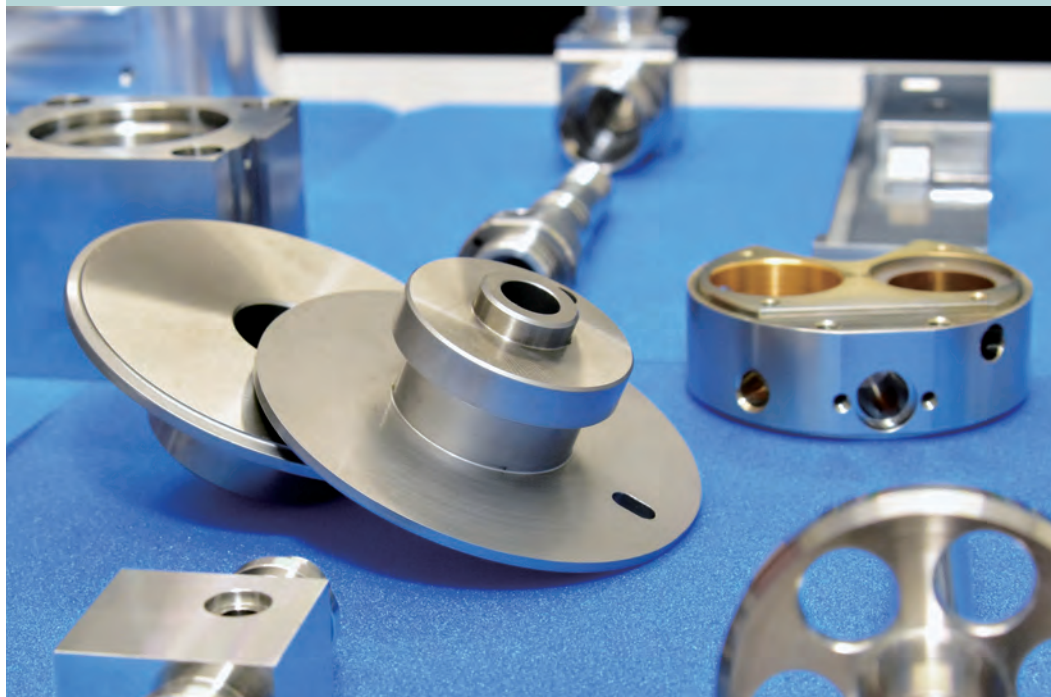


若い力で、難易度の高い 金属部品加工に挑む

納期相談
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



精度や品質を極めた加工部品

業務内容 高精度金属部品を広く供給

食品や化粧品、医療など高品質が求められる業界向けに高精度の金属部品を供給する金属加工メーカー。これまでに飲料や化粧品の充填機用ノズルやチャタンを使った人工関節、ニューヨークの地下鉄車両向け制御部品などの開発や製造を手がけてきた。3次元CAD／CAMシステムを導入し、企画デザインから設計、加工、組立までを一貫して請け負える体制が強い。生産管理に加え、製造設備の稼働状況を把握できる情報管理システムの導入で納期短縮や原価低減に努め、顧客から高い信頼を得ている。

強み 粘り強くトライし、 公差5μm以下を達成

企業理念は「常にチャレンジ精神を持って取り組む」。榎谷博司社長は「他社が断った難加工でも、可能性が半分でもあればトライする」という。

最近では、真空環境下で使用する紙バック密封装置の基幹部品の加工で結果を出した。飲料の賞味期限を延ばすための装置として、世界に先駆けて開発したもので、その部品加工に1年の長い期間をかけて試行錯誤を繰り返した。平面の精度が公差5μmも許されない厳しい要求に対し、複雑な形状をした部品の隙間に金属を流し込み、加工後にその金属を取り除くことで部品の変化を最小限に抑えるなど、同社ならではの豊かな発想力と高い技術力で応えた。

人材育成 伸びしろが大きい 未経験者を多機能工に

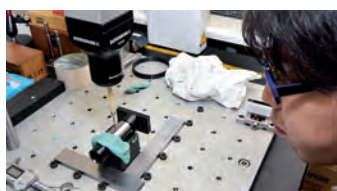
製造現場のスタッフは、30代前半の2名を筆頭に20代が中心。いずれも未経験者を

採用して、榎谷社長が育て上げた。未経験者の方が「既成概念がなく発想も自由。現場では、『できない理由』ではなく『できる方法論』を考えるのが仕事だと教え込めるので、伸びしろも大きい」と榎谷社長はいう。

今後の展望 「夢工場」の建設 プロジェクト実現へ

現在、燃料電池車の水素ステーションで用いる難削材の部品加工にチャレンジしている。また、業容拡大で本社工場が手狭になりつつあることから、新たな製造拠点の建設を計画しており、すでに大阪市西区内に用地も確保した。

「子どもたちが遊びに来て、スタッフと気軽に話ができるような地域に開かれた工場を作りたい。仕事姿を『カッコいい』と思ってもらえれば、それがスタッフのやりがいにもなり、将来の人材確保にもつながるはず」と榎谷社長は夢を語る。「夢工場」と名付けた建設プロジェクトの始動は、そう遠くない話のようだ。



加工部品の精度検査の様子



若いスタッフが活躍する工場

当社の歴史



昭和40年に父の榎谷正男が創業し、平成8年に私が事業を承継しました。平成20年のリーマンショックを機に、下請けからの脱却を図るべく、抜本的な経営改革を進めました。常に難易度の高い加工に挑戦することで技術力を磨くとともに、生産設備や検査機器の充実や人材育成にも力を入れています。

代表取締役 榎谷 博司さん

<http://www.masutanitec.co.jp/>

主な事業内容 金属部品加工

主な取引先(納入先)

(株) 瑞光、(株) 岡崎製作所、日本ピラー工業(株)、住友精密工業(株)、新家工業(株) など

- 住 所 〒550-0021 大阪市西区 川口4-6-8
- TEL 06-6581-2369
- FAX 06-6582-0929
- 創 業 昭和40年 4月
- 設 立 平成12年10月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 10名